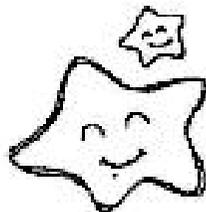


QSK にぬふあぶし

No.329

ね
子の方向の星(北極星)



沖福連・定例総会のご報告

梅雨明けした6月20日(木)、南風原町にある『てるしのワークセンター』にて、沖福連の定例総会が開催されました。正会員のほか、理事・監事など15名の出席があり、お互いの近況なども確かめ合いながらの賑やかな会となりました。

議長には金武町『イッペーの会』の我喜屋宗一会長が選任され、2023年度の事業報告および2024年度の事業計画について審議を行ないました。

報告事項として、南城市『月桃の会』の解散があり(本紙5ページも参照)、障がい者家族会の実情や、会の持ち方に関しては多くの意見が交わされました。

- ・家族会として障がい種別を分けたほうがより細やかな分かち合いができるが、細分化すればするほど会員を多く集めることは困難になる。
- ・三障がい統合にするなど範囲を大きくすれば、会員の間口も広がるが、その分、会員同士の共感性の担保が難しくなっていく。

もちろんどちらが正解でも間違いでもなく、それぞれの会の考え方となるのですが、異なるお互いのメリットを柔軟に上手く持ち寄ることができればと感じました。



うるま市結の会では、新会長と副会長のご挨拶がありました！
また、石垣島からはZoomにてオンラインでの参加がありました。

おあしすコール(沖縄市)
『家族学習会』のお知らせ

日程: 9月~1月
(毎月 第2日曜日・午後)
お問い合わせ: 098-933-2011





第16回全国精神保健福祉家族大会 みんなねっと北海道大会

対話を家族のものに 孤立から支援の輪の中へ～真のつながりを求めて

日時 2024年10月12日(土)
場所 北海道大学学術交流会館



参加申込み7月1日から受け付け開始

「みんなねっとホームページ」 <https://seishinhoken.jp/events/2024hokkaido>
をご覧ください。

※全体会、分科会の参加は事前登録制です。

会場都合等で分科会は希望に添えないこともあります。早めにお申し込みください。

- ・当日ライブでの配信は全体会のみです。(分科会はアーカイブ配信)
(全体会・分科会は10月21日より期間限定アーカイブ配信予定です)
- ・大会誌配布 当日会場に来場された方には大会誌をお渡します。
オンライン参加(当日会場に来られない方)はデータ配信のみとなります。

お問い合わせ 北家連 011-756-0822 (月～金10:00～16:00)

主催 (公社)全国精神保健福祉会(みんなねっと)
(一社)北海道精神障害者家族連合会(北家連)

『比嘉秀次さん、嘉手川重三さんらを偲びながら 沖福連の歩みを振り返るつどい』のご案内

時流に応じ、社会も制度もそれぞれに変遷を辿ってきたなかで、私たちはその都度になにを思い、なにを試みてきたか。沖福連2代目会長の比嘉秀次氏や、晩年まで福祉サービス事業に携わった嘉手川重三氏ら、先人の足跡を偲びます。



沖縄市福祉文化プラザ(沖縄市高原7丁目35-1)
2024年8月30日(金) 13:30~16:00

【概要】

- ① 沖福連の歩み
- ② 比嘉秀次さんを語る
- ③ 嘉手川重三さんを語る
- ④ これまでとこれからを語るフリーディスカッション
(※内容・予定には変更の場合があります)

沖福連や比嘉秀次さん、嘉手川重三さんらに関わりのある人、関心のある人、どなたでもお気軽にお立ち寄りください



お問い合わせは沖福連まで

【寄付金/賛助会員加入のお願い】

沖福連では、精神保健福祉に関する知識や考え方の普及啓発、また福祉サービス事業などを通して、誰にとっても生きやすい社会づくりに取り組んでいます。
当会の活動は、みなさまからの賛助会費やご寄付によって支えられております。
今後とも、あたたかいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

賛助会年会費 個人1口:2千円 / 団体・法人1口:1万円

琉球銀行:南風原支店 普通口座 229887

ゆうちょ:02020-0-37037 (加入者名:公益社団法人沖縄県精神保健福祉会)

※沖福連ホームページからクレジットカード決済もできます。



てるしのワークセンター サターアンダーギーはじめました！

増山 幸司

いまはもう亡くなってしまった県外の恩師のところに遊びに行くとき、「沖縄のものをなにか買っていきましょか」と訊いたら、「それなら」と、手土産として要求されたものがある。それがサターアンダーギーで、しかも店舗にも指定があった。

「国際通りのどこどこから平和通りに入って行って、〇〇のほうに進むとなんとかいうお店を過ぎた辺りに××という屋台があるから、そのサターアンダーギーを買ってきて」現物はこれよりもだいぶこまごま具体的な指示の書かれたメールが送られてきて、当時はまだスマホもグーグルマップも身近でない時代だったから、メールに書かれた案内に従って、ふだんあまり足を運ぶ機会のなかった国際通り近辺を、連れてこられたアクリイみたいに歩いたことを覚えている。

この一件以来、小麦粉と玉子と砂糖を混ぜて揚げただけのこのお菓子が、こんなふうにかたまりと情熱をかき立てるほどに、実はずいぶん奥深いものなのだなあということ、なんとなく理解するようになったのだった。

就労支援事業所『てるしのワークセンター』でも、そんなサターアンダーギーの製造販売に挑戦している。紅型、ピパーチ、ムーチーに続く沖縄の伝統文化シリーズのひとつである(そう聞いたわけではないが、そういうことにしておこう)。

個人的に試しに買って食べてみたら、思いのほかカリカリ感がイケている。黒糖味が特に美味い。一般的なものよりも小さくて、一口大くらいのサイズのせいか、ひとつ、もうひとつと後を引くうちに、奥さんと一晩で九つ食べてしまった。

何日か後にまた買ったら、同僚から「また買ってる」と呆れられた。

さて、恩師の家に持っていったサターアンダーギーは、実は師匠本人ではなく師匠のお母さんの大好物だったのだが、食べきれない分をぜんぶ半分に切ってタッパーに詰めて冷凍庫にしまうという作業をいそいそとやりながら、他の店のサターアンダーギーとはぜんぜん味が違うこと、沖縄に来たときはどんなに時間がなくても必ず買いに寄るのだというお母さんのサターアンダーギー愛をたくさん聞かせてもらうことができた。食は、人や思い出を揺り起こす。

「これ食べたい」がなくなぐ人の縁を、我々は絶対にもっと信じてもいい。サターアンダーギー食べたい。

南城市精神療養者家族会『月桃の会』解散のお知らせ

平成15年に結成した大里村精神療養者家族会『月桃の会』は、平成18年に南城市精神療養者家族会『月桃の会』となり、市内における精神療養者の福祉向上と社会復帰の促進を図ることなどを目的に活動を行なって参りました。

その間、本会は事務局を置く地域活動支援センター野の花の新築や、三障がい者が一堂に集う障がい者交流会の開催など、市内の障害福祉の進展に関わってきました。

南城市の障がい者を取り巻く環境は、本会の結成当時に比べれば、障害者総合支援法の施行などにより、諸障害福祉サービスも徐々に拡充されてきています。

地域活動支援センター野の花も、精神障がい者だけにとどまらず、三障がいに対応した相談や集いの場としてますます役割を広げてきました。孤立させない家族相談の機能や、地域における当事者の居場所づくりといった、本会の立ち上げ当初の目標をおおむねにおいて満たすことができたように感じています。

これを踏まえ、精神療養者家族会としての『月桃の会』について、令和5年度をもっての解散が提起され、令和6年5月7日の総会において決議されました。

今後は、いまの時代に求められている障がい者家族会の役割やあり方をあらためて精査・検討しながら、新しいかたちでの再出発を模索したいと考えております。

長い間、南城市精神療養者家族会『月桃の会』をご愛顧くださり、誠にありがとうございました。

令和6年6月吉日



南城市精神療養者家族会『月桃の会』

南城市大里字仲間1124番地1

南城市地域活動支援センター野の花

事務局一同

てるしのの紅型「せかいにひとつ」が 『RYUGIN GOOD NEWS』(沖縄テレビ) に取り上げられました!



6月1日放送の『RYUGIN GOOD NEWS』(OTV)にて、てるしのの紅型雑貨「せかいにひとつ」が紹介されました!(番組のYoutubeチャンネルでもご覧いただけます)

リアルな作業風景や、携わるメンバーの声も聞くことのできる楽しい動画となっています。ぜひチェックしてみてください!



◎編集後記◎

最初、今回の「サーターアンダギー」の記事は、「サーターアンダギー」の記事だった。「サーターアンダギー」の時点で山田会長に見せると、「ギーってなによ。「揚げ」のことなんだからアギだろ。砂糖・油・揚げ。サーターアンダアギーと書くべき」と言われ、実際ひとつひとつを「サーターアンダアギー」で書き直してみると字面上の違和感が半端なく「ウッソだろ」と思ったのだったが、結局の妥協案として「サーターアンダギー」表記で納得してもらうことになった。ことほど左様に、こういう強いこだわりを喚起する食べ物である。(増山)

編集: 公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会

会長 山田 圭吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平206-1

電話098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行: 九州障害者定期刊行物協会

〒812-0068

福岡市東区社領1丁目12番4号

電話092-753-9722 FAX092-753-9723

定価: 10円(会費に含まれる)